

マレーシア研究室旅行 予習編

M1 西川 亮 and kakibaya

Apa khabar? (アパ カバル・ごきげんいかがですか) いよいよ間近に迫ったマレーシア旅行。準備は万端ですか? 旅行に参加する人もお留守番の人も、マレーシアの都市と歴史を(ほんの少しだけ)予習してみましょう。

研究室旅行2008

2008.10.25-10.29

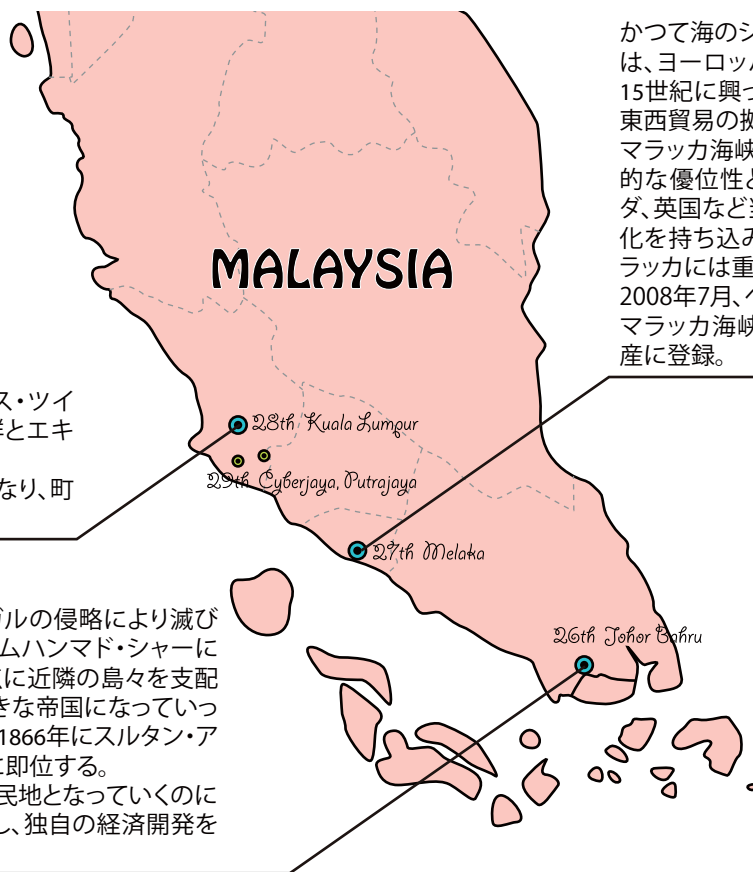
参考:<http://www.tourismmalaysia.or.jp/index.html>
(マレーシア観光局)等

首都クアラルンプールは、ペトロナス・ツインタワーに代表される超高層ビル群とエキゾチックな建築が混在する大都市。19世紀半ば、町はスズの集積拠点となり、町は急速に発展を遂げた。

Kuala Lumpur

ジョホールは16世紀初めにポルトガルの侵略により滅びたマラッカ王国最後の王、スルタン・ムハンマド・シャーによって建国された。その後ここを拠点に近隣の島々を支配するジョホール・リアウ帝国という大きな帝国になっていった。その後幾多の争いが繰り返され、1866年にスルタン・アブ・バカルがジョホール王国の王に即位する。マレー半島の他の州がイギリスの植民地となっていくのに対し、ジョホール王国は独立を維持し、独自の経済開発を進めた。

Johor Bahru



かつて海のシルクロードを支えた古都マラッカは、ヨーロッパの影響を色濃く残す歴史都市。15世紀に興ったマレー王国の首都として栄え、東西貿易の拠点となった。マラッカ海峡に面する港町・マラッカには地理的な優位性と富を求めて、ポルトガル、オランダ、英国など当時の列強が次々とそれぞれの文化を持ち込み、それらが混ざり合ったため、マラッカには重層的な歴史遺産が残る。2008年7月、ペナン島のジョージタウンとともにマラッカ海峡の歴史都市群として世界文化遺産に登録。

Melaka

-ありがとう。
トリマ カシ
Terima kasih.

-はじめまして。
スラム ブルクナラン
Selamat berkenalan.

-私の名前はリョウです。
ナマ サヤ
Nama saya Ryo.

-私は日本から来ました。
サヤ ダリ ジェブン
Saya dari Jepun.

-この街は美しいですね。
バンダラヤ イニ キャンティツ
Bandaraya ini cantik.

はじめてのマレー語★

修了式 D宋さん、母国で新たな道へ

D2 鄭 一止

ガス漏れ騒動で14号館が大騒ぎだった9月11日の夜、緊急に待ち合わせの場所が新大久保から本郷三丁目に変わり、宋さんの送別会が行われました。M1のプロジェクト、M2の旅行ともかぶってしまい、9人という少人数でしたが、久々の研究室飲み会でもあって、いろんな話で盛り上がりながら、宋さんの卒業および就職を祝いました。

卒業と就職という、博士課程ならではの悩みを持つ我々に、3年でちょうど卒業でき、そのまま就職も決まった宋さんは、自分自身をより奮発させるきっかけをつくってくれました。今はもう韓国でばりばり働いていると思いますが、この3年間本当にお世話になりました。そして、再びですが、卒業および就職おめでとうございます。

今は既に空いている宋さんの席を見ながら、2階のイルジでした。



世界へ飛びだすデザ研メンバー

-夏の海外滞在記-

D3 永瀬 節治

8月後半、フランス、ノルマンディー地方のCerisyという小さな町で行われた学会“Être vers la vie”に参加してきました。「生への存在」という名は和辻哲郎の言葉に依るもので、ベルク先生の風土学の概念を共有する日仏の研究者が集まり、熱い議論が繰り広げられました。仏語による哲学系のレクチャーもさることながら、歴史的モニュメントの古城に滞在し、絵に描いたような田園風景に囲まれて、地場の美味しい料理とワインを味わい、とても刺激的で贅沢な一週間を過ごすことができました。



M2 鎌形 敬人

9/2~9/10の日程で、ヨーロッパ旅行に行ってきました。メンバーは、大道・鈴木・鎌形の3人。直前にアリタリア航空が経営破たんし、ドキドキのフライトで幕開け。ローマの市場の食材で朝ご飯を作り、ヴェネツィアの路地に迷い、パリを自転車で疾走。ユースホテルや夜行列車では、他の旅行者との触れ合いも。そして何より、3人とも初ヨーロッパで、本で読むだけだった美しいヨーロッパの街並みを、しっかりと堪能してきました！



2008年度 第8回研究室会議

text_kakibaya

今学期初の研究室会議が10月7日に行われ、博士入学の傅さん、研究生の高橋さんの自己紹介の後、4人のM2が発表しました。

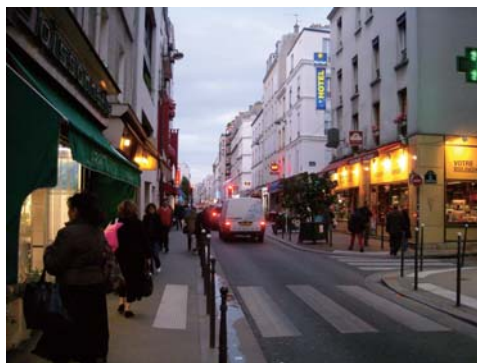
- M2鈴木 惇也:「歴史的建造物(群)の保全に対する財源確保に関する研究」
- M2北村 修一:「離島住民の本土の都市・施設利用に関する研究」
- M2蛭灰谷 愛:「都心部における、まちづくり活動支援によるネットワーク形成の実態について-東京都千代田まちづくりサポートを通じて-」
- M2鎌形 敬人:「地場産素材を活用した景観まちづくり」

前号の国内旅行記に続いて、海外編です。建築学会のために日本に戻ってきていた江口さんにも近況を聞きました。

D2 江口 久美

パリで留学を開始してからの2ヶ月の間、ベルク先生がノルマンディーで行った学会に参加したり、また、建築学会の為に一時帰国したりしましたが、パリでの生活にはやっとな慣れてきました。モンパルナスの近くに住んでいますが、パリの街はとても魅力的で、気づくといつ何時間も歩いています。現在は自宅や図書館等で調査や研究をしています。パリ市の合意形成委員会を閲覧させていただきましたが、住民組織の方の活発な発言がとても印象的でした。これからもまだまだたくさんのごことを勉強したいと思います。

写真は、私の住んでいるレイモンド・ロスロン通り(14区の庶民的な界限)です。



text_yahara

9月初旬、ニューヨークとボストンを初めて訪問しました。マンハッタンでは、超高層のビル群や人々のエネルギーに圧倒されながらも、新旧の建物が混在する様々な界限を楽しみました。ボストンは、煉瓦色の落ち着いた街並みが印象的でした。ヘリテッジトレイルを介して街の歴史や歴史的建造物に触れることができ、興味深かったです。1週間ほどの観光でしたが、街並みと歴史との対話について視野が広がる良い機会となりました。



都市デザイン研究室 10月の予定

8-10日 高山project現地訪問	21日 第9回研究室会議
9-13日 足助project現地訪問	新入生歓迎会
20日 バンコクフォーラム交流会	25-29日 研究室旅行

編集後記

text_kakibaya

秋ですね。私の好きな季節です。9階では今ラベンダーを育てています。今は小さな芽ですが、2年たつと25株もの花が咲くんですって!!わお! マレーシア工科大学側とのやりとり、手配をしてくれている旅行係の西川くん、本当に御苦労さます。私も、駒場で履修の記念に買った英マ辞典が今になって役に立つとは思いませんでした。